

諏訪之瀬島の火山活動解説資料（平成 20 年 11 月）

福岡管区気象台
火山監視・情報センター
鹿児島地方気象台

爆発的噴火¹⁾は 46 回発生し、小規模な噴火も時々発生しました。諏訪之瀬島ではこれまでも長期にわたり噴火を繰り返しています。

今後も、御岳火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね 1 km の範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

平成 19 年 12 月 1 日に火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

11 月の活動概況

・噴煙など表面現象の状況（図 2）

爆発的噴火¹⁾は 46 回発生し、小規模な噴火も時々発生しました。諏訪之瀬島ではこれまでも長期にわたり噴火を繰り返しています。

十島村諏訪之瀬島出張所によると、集落（御岳の南南西約 4 km）で 1 日、4 日、5 日、12～14 日に降灰が確認されました。

噴煙の最高高度²⁾は、14 日の噴火に伴う灰白色噴煙の 1600m（10 月：2000m）でした。

・地震、微動の発生状況（図 2、図 3）

火山性地震の月回数は、A 型地震が 11 回（10 月：23 回）で、B 型地震は期間を通してやや多い状態が続き、760 回（10 月：570 回）と増加しました。

火山性微動の月回数は 540 回（10 月：344 回）で、継続時間月合計は 193 時間 52 分（10 月：253 時間 18 分）でした。また、19 日～21 日にかけて、火山性微動の振幅がやや増大しました。

・上空からの観測（図 4）

11 月 13 日に第十管区海上保安本部の協力により実施した上空からの観測では、御岳火口周辺の状況等に特段の変化はありませんでした。

- 1) 諏訪之瀬島では、爆発地震を伴い、島内の空振計で一定基準以上の空振を観測した場合に爆発的噴火としています。
- 2) 2003 年 3 月 28 日以降、噴煙の最高高度は遠望監視カメラによる観測値と十島村役場諏訪之瀬島出張所の報告のうち高い値を用いています。

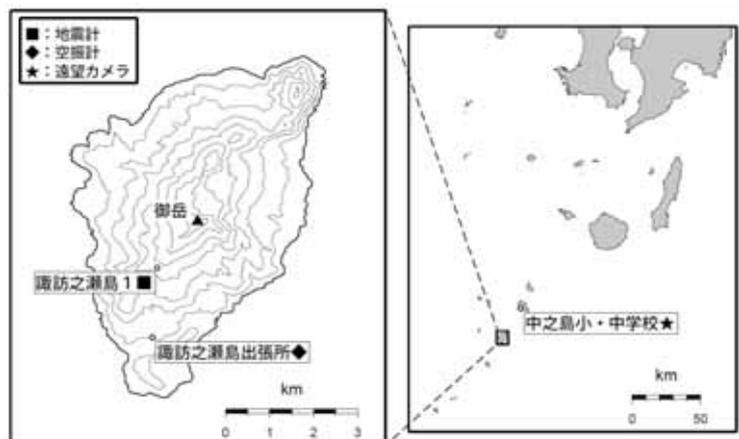


図 1 諏訪之瀬島 観測点配置図

地図の作成に当っては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ(標高)』、『数値地図 10mメッシュ(火山標高)』を使用しています(承認番号：平 17 総使、第 503 号)。

この火山活動解説資料は、気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)、福岡管区気象台ホームページ(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料(平成 20 年 12 月分)は平成 21 年 1 月 7 日に発表予定です。

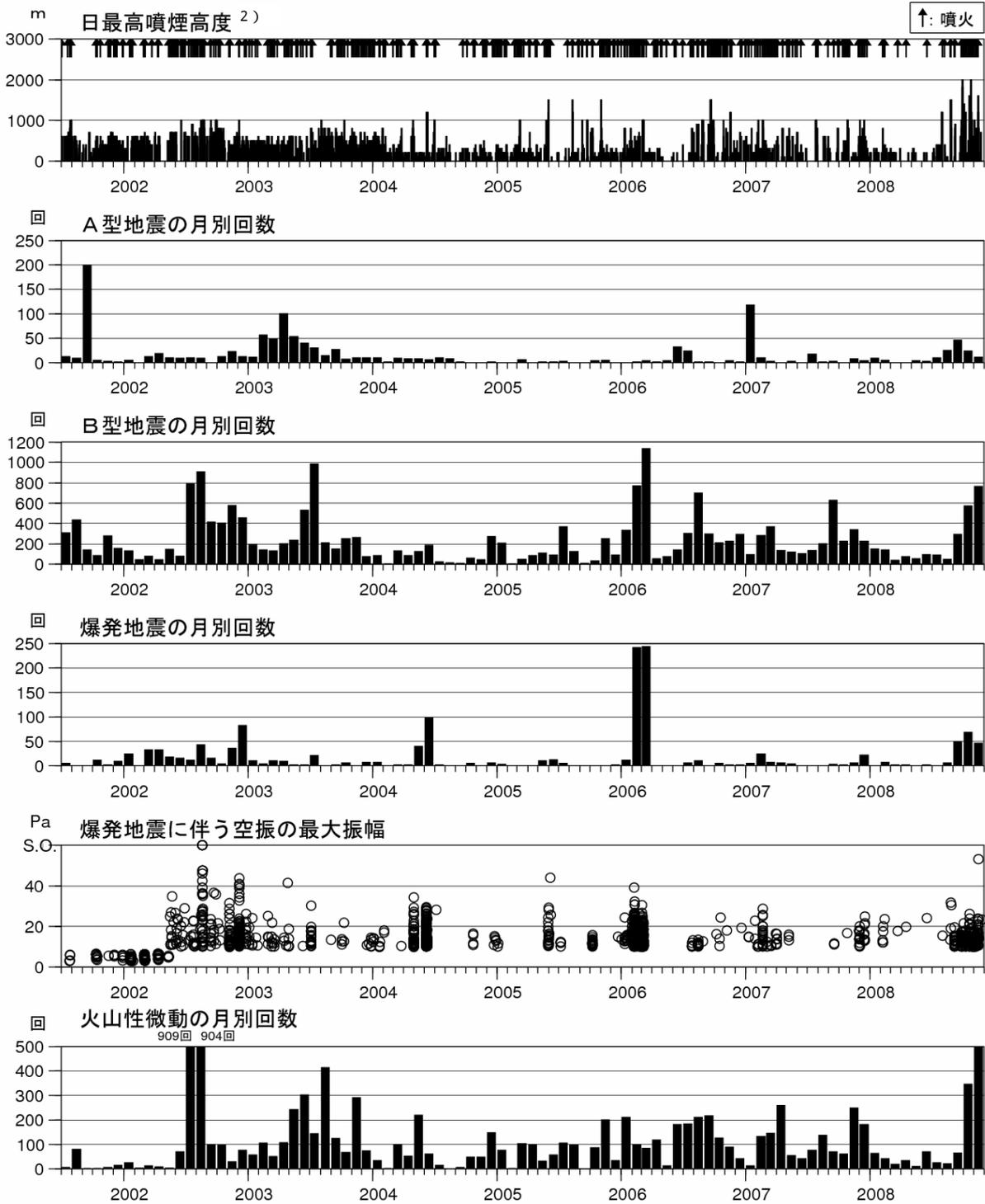


図2 諏訪之瀬島 火山活動経過図(2001年7月~2008年11月)

- ・爆発的噴火¹⁾は46回発生し、小規模な噴火も時々発生しました(10月:爆発的噴火68回)
- ・噴煙の最高高度²⁾は14日の噴火に伴う1600m(10月:2000m)でした。
- ・A型地震は11回(10月:23回)、B型地震は期間をとおしてやや多い状態が続き、月回数は760回(10月:570回)発生しました。
- ・火山性微動は540回(10月:344回)でした。

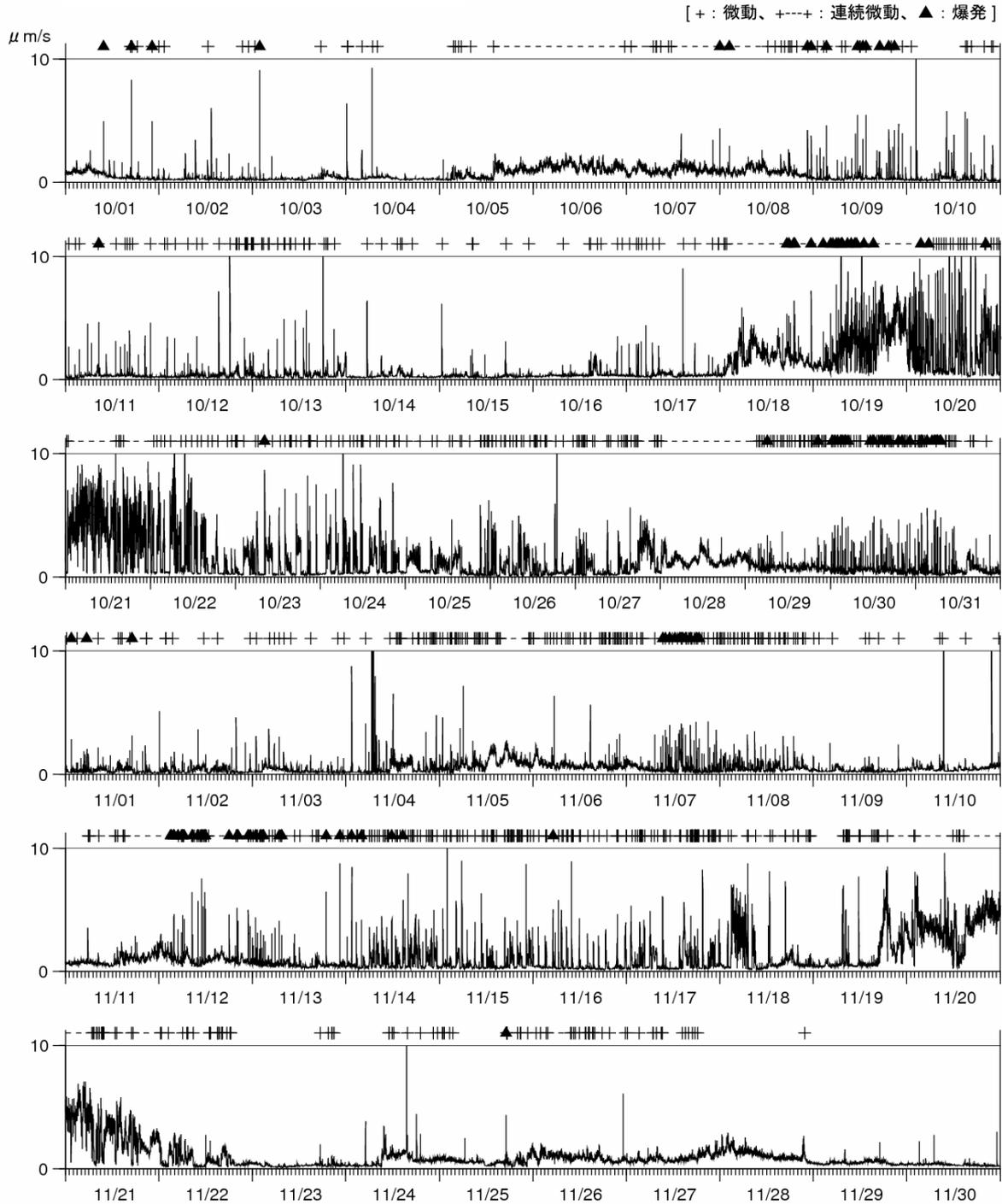


図3 諏訪之瀬島 1分間平均振幅の時間変化(SWA1上下成分)(2008年10月~11月)

- ・火山性微動の継続時間月合計は193時間52分(10月:253時間18分)でした。
- ・11月19日~21日にかけて、火山性微動の振幅がやや増大しました。



図4 諏訪之瀬島 可視画像(11月13日第十管区海上保安本部の協力による)
写真左:北東側から全景 写真右:北東側から御岳火口周辺
御岳火口周辺の状況等に、特段の変化はありませんでした。